

NHK沖縄放送局 2010年3月8日～13日放送

「特集 米国海兵隊取材」における重要発言抜粋

太平洋海兵隊司令部 ラッセル・スミス大佐 重要発言



沖縄は発展を遂げ、いろいろなものが基地のフェンスに迫るようになってきました。30年～40年前と比べ、人口が増え、経済が発展し、環境問題に対する意識が高まったためアメリカ軍が日本で行うことができる訓練は限定されるようになってしまいました。

② 米軍が即応能力を維持するため日本本土や沖縄で行う必要がある訓練に影響がでています。



③ グアムはアメリカと太平洋地域の多くの国々との安全保障上の協力活動のハブ(拠点)となるでしょう。

④ 他国を招き、沖縄の海兵隊と一緒に訓練することは困難です。なぜなら日本政府の意向に配慮しなければならないからです。

⑤ 日本政府はおそらく他国の軍隊が日本の領土に入るのを望まないでしょう。

⑥ グアムはアメリカの領土のため各国の軍隊を招いて共同で訓練することも可能となるでしょう。日本ではそれは困難でしょう。



太平洋海兵隊司令部 ジョセフ・サンプソン氏 重要発言



① グアム移転は海兵隊のアイディアではありません。しかし、海兵隊は真の価値をグアム移転に見いだしています。

② 沖縄の方が好ましい場所ですが、グアムにも多くの価値があります。

③ 特に今後 50 年、100 年我々が駐留する場所として考えた時にはそうなのです。



④ 我々は今、北マリアナ諸島の中で船から海岸に上陸し、すぐに実弾を使った射撃訓練に入れる場所を探しています。協力関係にある国々のほとんどは同じ訓練を行いたいと考えています。この訓練が行える場所が太平洋地域にはあまりないからです。

⑤ 各国がグアムに来れば、お互いの協力関係が進みますし、一緒に訓練すれば即応性が向上します。自衛隊も訓練しなければなりませんね。グアムは我々が集まることのできる新しい場所であり、将来必要となる可能性のある任務のためにより優れた訓練を行う機会を提供してくれるでしょう。

